

# Projects 2022

2022年度もワクワクを胸に、各地でプロジェクトに取り組むことができました。みなさん、ありがとうございました！

プロジェクトの詳細はコチラ→



## Ongoing Projects



### 松本城三の丸エリア プレイスメイキングプロジェクト

2021年度に策定した「松本城三の丸エリアビジョン」で描いたシーンを実現すべく、12月にエリアプラットフォームを設立しました。次年度はエリア内の各境界での具体的なアクションに入っていきます！



### 気仙沼まちなかエリア 未来ビジョン推進プロジェクト

2021年度末に民間主体で策定したビジョンの実現に向けて、今年度は社会実験「わくわく大作戦2022」を実施し、漁港の水面活用や道路のホコ天化などいくつかのプロジェクトを試行しました。常設化に向けた課題の整理や、市のビジョンへの位置づけを官民一体で進めています。



### なんば駅周辺 まちづくりプロジェクト



### 豊田市都心地区広場の 計画・運営プロジェクト



### 「久御山まちなか構想」 プロジェクト



### 西梅田地区における エリアマネジメント



### 姫路・大手前通 魅力向上プロジェクト



### 姫路ウォカブル 推進プロジェクト



### 山口駅通りまちなかウォカブル 推進プロジェクト



### シェアハウス・みかん荘

## New Projects



### 大津湖岸なぎさ公園周辺 魅力向上プロジェクト



### あるかぼーと・唐戸エリア マスタープラン策定プロジェクト

## 受賞

姫路市ウォカブル推進計画  
「令和4年度まちづくりアワード/構想・計画部門」国土交通大臣賞  
国土交通省

morineki (北条まちづくり) プロジェクト  
「令和4年度都市景観大賞・都市空間部門」大賞  
「都市景観の日」実行委員会(国土交通省後援)  
「2022年度グッドデザイン賞」

長門湯本温泉未来プロジェクト  
「令和4年度土地活用モデル大賞」国土交通大臣賞  
一般財団法人都市みらい推進機構(国土交通省後援)

## News

2022

### New Crew

新メンバーが入社！  
4月に中途入社員の野崎が加わりました。

### Tours

3年ぶりのワールドツアーへ！  
コロナ禍で実施出来ていなかった海外視察旅行へ。アメリカのニューヨーク・ポートランドを訪ねました。

### Training

OSAKA URBAN DESIGN EXPLOREを開催！  
大阪で都市デザインを実践されてきた方々のお話を伺う社内研修を開催中！今年度中に全12回を実施予定です。



# Heart Beat Letter

## Have a Great New Year!

## No.2

#2022.12



## My Heart Beat Work -心躍る仕事-

「ハートビートプラン」という名前の通り、私たちは、まさに「ワクワク」を編み込む都市デザイン事務所です。ビジョンに込められたワクワク、プロセスの中で相互に関わり合うことで生まれるワクワク、実現されたシーンから感じるワクワク。その多くの部分を体感できる都市デザインという仕事は、まさしく「Heart Beat Work」なのかもしれません。



# Heart Beat Letter No.2

## #2022.12

## 私の“Heart Beat Work”

まちの人たちに併走し、共に未来をつくるハートビートプランの仕事は、メンバーの個人的な生活や価値観、喜びや興味と分かちがたく結びついています。それぞれの「Heart Beat Work -心躍る仕事」を、「Heart Beat Music -心躍る1曲」と共に紹介します。



### Heart Beat Music

▶ プレイリストはこちらからお聞きいただけます

### 「仕事上」→「新津個人」との付き合いに

仕事きっかけでまちに関わり始めると、そこで暮らす方と会うのはやはり仕事上のきっかけがほとんどであり、まちの方からすれば僕は仕事で来ている外のひとと捉えられることが常である。ただそこから、話をし、飲みに行き、お店に通って、ということ積み重ねていくと、あるとき「仕事上の付き合い」→「個人としての付き合い」に変わる瞬間がある。このときに「ああ、ようやくこの人とフラットに接することができるスタートラインに立てたな」と心が躍り、安堵する。一方で、その瞬間から仕事はどうとかいう言い訳は一切できなくなるということでもあり、僕の人となり試されると思っている。心躍る瞬間であるとともに、身が引き締まる瞬間でもある。HBPに参画し今までより多くのまち・人に関わるようになったなかで、どのまちでも“新津”として信頼関係を築き、全力でサポートしていきたい。

新津 瞬



Heart Beat Music

▶ サカナクション「ミュージック」

▶▶ 低音のビート、悩める歌詞、そして劇的なクライマックス。ライブも最高!

### 社会人3年目になって思うこと

いつの間にか社会人3年目に突入し、一人で現地に行くことも増えてきた。嬉しいと感じるのは、一番は地域の皆さんと話している時。話を聞いてもらった。話してもらった、自分宛に電話をもらった、ご飯に誘ってもらった…。些細だけれどそれらが自分のエンジンなんだなとわかった。また、「あの時のあれはこういうことだったのかもしれない」「あの人はこういう経験をしてきたからああ言っていたのかもしれない」と思う時がたまに出てきた。それは誰かと話している時、何かを見た・聞いた・読んだ時、と色々なのだが、過去に右も左もわからないけれど聞いたり、取り組んだりしていたことを思い出して、ほんの少し解像度が上がる感覚になり、これもまた嬉しいと思う。地道で、助けてもらってばかりの毎日ですが、こんな瞬間を一つでも増やしていきたい。

田中 咲



Heart Beat Music

▶ BUMP OF CHICKEN「真っ赤な空を見たろうか」

▶▶ 地元と同じBUMP。帰り道口ずさむ曲です。いつかライブに行きたい!

### 形あるもの・形ないもの

8月、前職で担当していた分譲マンションが竣工し、先輩にお招き頂き東京まで物件を見に行きました。パースで描いていた建物が目の前に立ち上がっている姿に感動しました。それ以上に、現場所長や設計者と、他のマンションに採用したことの無い窓はどう取めたのか、など議論を交わすうちに、わくわくし心が躍りました。担当者だったころはこんなに心躍らなかったのに。思い返せば、久しぶりにお会いできたことからテンションが上がって、なんでも話そうすることができたんだ、と思います。心躍る仕事には、本音で話し合うことが必要だと感じています。ハートビートプランに入社して、まもなく1年です。社会実験の効果測定などから楽しみを感じ始めていますが、まだ殻を破れず、心躍る場面には出会えていません。「心躍る瞬間に出会いたい」そんな一心で次年度を楽しみたいです。

野崎 翔



Heart Beat Music

▶ YUKI「うれしくて抱きあうよ」

▶▶ 中学生野崎「なんだこれ!!!」それ以来YUKIが大好きです。

### 魂のこもる瞬間

僕らの仕事は、整備が終わり運営体制をつくるころまで、もしくは、その後の少しの間だけ地域の主体と一緒に伴走して終わることが多い。もちろん、その後も遊びに行ったり、何かの機会に関わることもあるけど、基本的には積極的な関わりは少なくなっていく。そうなる前から、僕らが想像もしていなかった、新しい化学反応や動きが起きてポジティブにプロジェクトが書き換えられていく時がある。例えば岡崎では地域のメンバーが次から次へと新しいことを始めて、乙川はもはや街に欠かせない場所になっているし、長門でもどんどん新しいプロジェクトが動き出している。こうやって、地域が力強く動いていく瞬間に、僅かながらの自分たちの関わりで魂がこもった気がする。こういう仕事は心が躍るし、関わって良かったなと素直に思える。

取締役 有賀 敬直



Heart Beat Music

▶ Rage Against the Machine「Guerilla Radio」

▶▶ 常に抗い続けて、闘っていききたい!

### ハートビートプランの未来

ハートビートプランに入社してもうすぐ10年になる。途中2回の育休をはさみ、人生の紆余曲折も経たが、元気に働き続けられる場所があるのはありがたい。10年もいるのに、ハートビートプランってよう分からんな、と思うことがよくある。メンバー全員バラバラなようで、何となくまとまっている、いややっぱりまとまってないか…?とひとつ言えるのであれば、それぞれが個別のバックグラウンドと個性を持ちながら、「誰かと共にあること」の可能性を、本能的に信じている人たちの集まりだとは思う。よう分からん、というのは形にこだわらずに変化出来るという可能性の話でもある。ハートビートプランが、目指す方向を緩やかに規定しながら、それぞれのメンバーの状況、気持ちの変化、そういうものを受けとめ、背中を押せるような場所であり続けられたいと思う。その未来を思うと、心が踊る。

山田 友梨



Heart Beat Music

▶ ビョーク「Hyper-Ballad」

▶▶ 愛で殴る!

### ふんわりと軽く、柔らかく

プロジェクトで関わる街のベンチやテラスで休憩していると「こんにちは」と街の方に声を掛けて頂くことがある。その後、他愛のない会話をし、別れる。街に馴染んだような気がして、なんだか嬉しい。ベンチに座って街を眺めると、地域に吹く風が変わったように感じることもある。街がふんわりと軽く、柔らかくなったように。柔らかくなったこの街でこれから何が起きるか楽しみになる。「この活動は地域を良くするための運動です」とある会議の終わりの挨拶で地域の方がこう発言した。「運動」という言葉にぐるぐると思いが巡る。50年後も100年後もこの街が良くなることを願わない人はいないけれど、少しでも具体的なアクションを起こしている人の隣で、悔しがったり、笑ったり、怒ったりしながら、一緒に前を向いて歩いていきたい。

岸本 しおり



Heart Beat Music

▶ サンボマスター「世界はそれを愛と呼ぶんだぜ」

▶▶ “新しい日々を変えるのは いじらしい程の愛なのさ”

### プロセスの中で見えてくるもの

豊田市の新とよパーク。焚き火もスケートボードもできるこの駅前広場は、地元プレイヤーと市役所の想いある方々とで実現させた自由な居場所。検討当初は「なんで野球場やサッカー場は市が整備して運営も税金でやっているのに、この広場だけ俺たちがボランティアで運営することが整備条件なんだ!補助金を出すべきじゃないのか!」と言っていたスケボーチームのリーダー。そんな彼が5年経った今、新しく運営に加わったメンバーに「ここは俺たちが対話を重ねて獲得し育ててきた場所なんだ。市は運営対価を払うべき、と言うスタンスなら参加しなくて良い。この場所にはお金では得られない価値があるからみんな自分の意志で楽しんで運営しているんだ」と言ってくれた。良い計画や空間を作るよりも大切なことがあるということ、僕自身もあらためて実感させられたとても嬉しい瞬間だった。

取締役 園田 聡



Heart Beat Music

▶ SUPER BUTTER DOG「サヨナラCOLOR」

▶▶ ゆるりと大切なこと言ってくれる素敵な曲。疲れた時に沁みます。

### 想像を超えたとき

自分でない誰かが、想像もしなかったことを形にしたとき、が喜びを感じる瞬間です。立場は変えながら、今までいろんな仕組みや企画をしてきていますが、それが順調に進むことは一つの安心。その取組が積み重なったまとまりが、必ず心躍る将来につながると思いつつ、それでも、一つ一つのミッションは淡々とやっていると普段のお仕事かなと思います。でも、自分が関わった何かの合間合間に、自分でない誰かがびっくりするような表現をして、それが具体化する瞬間に時々出会えます。それに心が躍る。できれば、その表現者には、これを支える制度や企画はまったく意識をしないでもらって、そこはこちらで淡々と続けていって、ひっそりと心を躍らせたいのです。

木村 隼斗



Heart Beat Music

▶ 伊勢大貴「烈車戦隊トッキュージャー」

▶▶ 浅くて深い、深くして浅い。イメージーションの力!

### ワクワクの共鳴

どんなときにワクワクするだろうと、心躍った瞬間をいくつか思い出してみると、どの瞬間にも「ある共通点」が存在することに気づきました。それは、「周囲にも自分と同じ熱量で楽しんでいる人がいる」ということ。仕事でも、将来を妄想したり、理想シーンを語り合ったり、現地で実験したり…と、心躍る瞬間は色々ありますが、そういった瞬間には、相手の立場は関係なく、決まって周囲に「一緒に楽しんでいる仲間」がいるのです。逆にいうと、そういう人の傍にいないと、自然と自分もワクワクしてくるような気もします。ワクワクは共鳴するようです。早いものでJR西日本からHBPに出向して、もう1年半になります。まちにワクワクを編み込めるよう、まずは自分自身が楽しみ・ワクワクしながら、周囲やプロジェクトと向き合っていきたいです!

古庄 大樹



Heart Beat Music

▶ 変態紳士クラブ「GOOD and BAD」

▶▶ 前向きな気持ちになりたいときにピッタリな一曲です!

### 人とまちとの行き来

好きだと思えるまちがある。そんな関係が増えたら、日頃の出来事や周辺環境の感じ方が変わる。まちとは何か?対象が特定しにくい。なので、人、歴史、文化、景観、経済、インフラ、コミュニティなどなど色々な切り口がある。一人の人間は、これらばやとしたものの構成要素でもあり、そこに影響も与える。その双方向に影響し合う共通体験やプロセスが実感できた時、人はまちを認識して好きになる可能性が生まれる気がする。その個人のスイッチが入る瞬間は、いつも心を動かされる。しかし、それが地域に支持される活動や事業にならないと持続しない。この行き来の流れをデザインすることが我々の役割そのものだし、そこに私はワクワクするのだ。

代表取締役 泉 英明



Heart Beat Music

▶ 佐野元春「Heart Beat」

▶▶ 何か突き抜けてたくて彷徨っている時に横にいて背中を押してくれる